

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2015
12月
No.19

 兵庫県立尼崎総合医療センター

だより

[部門紹介]

放射線部

「思いやりと技術力で
安心安全な医療を提供します。」



[各科紹介] 整形外科／糖尿病・内分泌内科

- 尼崎市消防局長からの“ひとこと”
- セミナーのご案内
- スタッフのつぶやき
- ぶらり〜っと病院探訪



思いやりと技術力で 安心安全な医療を 提供します。

● 紹介

放射線部では診断から治療までを支援するために、最先端の放射線機器を用いて約50名の技師で日夜業務に奮闘しています。画像診断部門では、一般撮影をはじめX線透視、CT検査、MRI検査、血管造影検査、核医学検査を行っています。特に最新の320列CT装置や3テスラMRI装置、心臓用装置3台と汎用型装置1台による血管造影装置、高画質を得られるPET-CTなどにより、高度な医療を提供しています。放射線治療部門では最新の高精度治療を可能とした装置を2台設置し、悪性疾患等の治療を行っています。



放射線部 技師長
竹中 達明



● 取り組み・抱負

より質の高い医療を達成するために、迅速かつ的確な高度専門医療への対応や多職種が連携したチーム医療に基づいた安心安全なシステムを目指しています。

救急医療では、24時間体制で一般撮影やCT・MRI検査などの緊急検査に対処しており、ハイブリッド手術室に併設された血管造影装置により、さらに高度な医療の提供を心がけています。またPET-CTでは病変や転移の有無の診断に寄与しています。放射線治療では、最新技術を用いた画像誘導放射線治療（IGRT）とともに強度変調放射線治療（IMRT）や定位放射線治療（SRS・SRT）などの治療に取り組んでいます。

Message

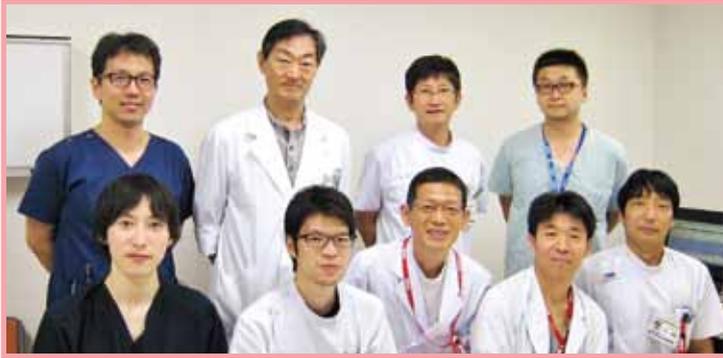
医療法改正による“チーム医療の推進”では、医療安全の視点から画像診断における読影補助を行うことや放射線検査に関する説明や相談について患者さんのわかる言葉で医療的根拠に基づいた説明をすることを今まで以上に求められており、専門力を活かして積極的に行動したいと思います。

整形外科

運動器(脊椎・手足の関節)を守る整形外科



整形外科は、新病院への対応のため体制を一新し、24時間・365日の救急に対応するため毎日の当直体制を取っています。また、地域の医療機関と密に連絡を取り患者紹介や逆紹介の流れを円滑にしています。外来部門では、平日3診体制で一部専門外来を設けて診療に当たっています。手術は、夜間・休日の緊急にも対応し、顕微鏡・関節鏡・ナビゲーションなどの高度医用器械を導入して安全・小侵襲・確実な手術を心がけています。



後列左から：三浦医師、野口医師、木村医師、佐竹医師
前列左から：中川医師、築山医師、和田山医師、猪坂医師、小林医師



糖尿病・
内分泌内科

内分泌代謝疾患の地域における 中核施設としての糖尿病・内分泌

対象とする疾患の最近のトピックス

糖尿病

インクレチン関連薬やSGLT2阻害薬等の最新治療を導入し、個々の患者様の病態にあった最適な治療方法を選択しています。またインスリンポンプ治療や持続血糖モニタリング装置を用いることにより、1型糖尿病においても綿密な血糖コントロールが可能となっています。

甲状腺疾患に対するアイソトープ治療

本年9月より特別治療室での甲状腺癌に対するアイソトープ治療を再開しています。また一般病室でのバセドウ病に対するアイソトープ治療も症例数が増加しています。

原発性アルドステロン症

本症が疑われる患者様を紹介頂くことがますます増加しており、外来検査(画像検査など)→5日間入院による各種内分泌負荷検査→副腎静脈血サンプリングの順に精査を行い、慎重に治療方針を決定しています。

糖尿病・内分泌内科部長

北野 則和

日本内科学会 認定医
日本糖尿病学会
専門医・研修指導医
京都大学糖尿病・内分泌・
栄養内科 臨床教授



整形外科のご紹介

安全・確実・低侵襲手術

- 顕微鏡・ナビゲーションなどの高度医用器機を導入した、安全・確実な脊髄の除圧や脊椎の固定術
- 関節鏡を用いて小侵襲な関節手術(肩・膝・その他)小侵襲な手術は、術後の痛みが少なく回復が早いというメリットがあります。

外傷の緊急手術にいち早く対応

夜間・休日を含めて骨折・外傷の緊急手術にいち早く対応

短い人工関節手術の入院待機待ち

初診日から比較的短い期間で入院・手術が可能

対象とする疾患

脊椎疾患

骨粗鬆症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、頸髄症、頸椎後縦靭帯骨化症

関節疾患

変形性膝関節症、変形性股関節症、肩関節(腱板断裂、拘縮、反復性脱臼、スポーツ障害)、膝関節(半月・靭帯損傷)、関節リウマチ

外傷

骨折(大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折など)、靭帯損傷、腱断裂

腫瘍

骨腫瘍、軟部腫瘍

その他手足、背骨の(運動)に関する全般

診療科長

和田山 文一郎

日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会スポーツ医、日本整形外科学会リウマチ医、日本整形外科学会脊椎脊髄病医
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医、日本脊椎脊髄病学会外科指導医、日本リウマチ学会専門医
中部日本整形外科災害外科学会評議員

当科は統合前から糖尿病だけでなく各種内分泌疾患の診療にも力を入れており、新病院では「糖尿病・内分泌センター」として更なる専門的医療を提供すべく活動しております。またいよいよ「生活習慣病センター」が活動を開始し、北野センター長が11月より毎週水曜日に生活習慣病外来を担当し、糖尿病をはじめとした生活習慣病全般に関する検査や生活指導を行っています。当科は、生活習慣病センターにおいても中心的役割を担っていきます。



左から:沼医師、大谷(大輔)医師、中村医師、大谷(翔一)医師、北野医師、許医師
(下田平医師、井出医師も在籍)

糖尿病・内分泌内科科長

中村 嘉夫

京都大学医学博士
京都大学糖尿病・内分泌・
栄養内科 臨床教授・非常勤講師
日本糖尿病学会 専門医・指導医・学術評議員
日本内分泌学会 専門医・指導医・評議員
日本内科学会認定医・指導医

県立尼崎総合医療センターへ



兵庫県立尼崎総合医療センターに 期待を寄せて

尼崎市消防局長 河本 博志さん



兵庫県立尼崎総合医療センター御開院、誠におめでとうございます。

藤原久義院長をはじめ、関係スタッフ皆様方の御尽力に対し心より敬意を表します。

全国でも屈指の救命救急センターの設立を心待ちにしていたところであり、重篤な傷病者を最優先で受入れていただける環境の整備に加え、以前にも増して積極的に傷病者の救急受入れに御協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

また、重篤な傷病者のもとヘクターカーの緊急出動をはじめ、救命率向上に向けた取組みに対しても大いに期待いたしているところです。

さて、当市における救急需要は、高齢化の進展とともに増加の一途を辿っており、昨年(平成26年)は、過去最高となる26,767件の救急事案を救急隊8隊で対応しましたが、救急隊1隊あたりの稼働件数が3,346件となり、全国的にも群を抜く多さとなりました。

このような状況のなか、救急隊は尼崎市医師会が主となって導入された「*hi-Anshin* むこねっと二次救急システム」を活用し、救急応需可能な医療機関の迅速な選定に努めておりますが、平成27年11月までの救急出動の状況を見ますと前年比約5%の増となっており、過去最高の件数が見込まれることから、医療機関の選定が今後ますます困難になることも予測されます。現状におきましても、手術中や専門外の他、休日夜間に発生する小児の外傷系疾患や高齢者の整形系疾患など、受入れが困難となる場合も多々ありますことから、貴センターにおかれましては、傷病者に対する救急医療が遅滞なく開始される最後の砦として、これからも傷病者の積極的な受入を期待いたしております。

今後とも救急業務への深い御理解と御協力、救急隊員への御指導をお願い申し上げますとともに、住民が安全で安心して暮らせるまちづくりに欠かすことのできない兵庫県立尼崎市総合医療センターの更なる御発展と、職員皆様の御健勝並びに御活躍を心より御祈念申し上げます。

2つの当院企画セミナーのご案内

多くの方
ご参加を!



第55回市民健康公開講座 「市民すこやかセミナー」

【テーマ】●アレルギー性鼻炎について
—診断・症状、いろいろお話しします—

講師：県立尼崎総合医療センター
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医師 西村 一成

【日 時】平成28年1月15日(金曜日)
午後2時～3時30分

【場 所】県立尼崎総合医療センター 講堂(1階)
参加費：無料(予約不要)

★お問い合わせ：地域医療連携センター
☎ 06-6480-7000(代表)

第2回 生活習慣病セミナー

【テーマ】●『これだけは知っておきたい動脈硬化
予防の知識』～ 食事について ～

講師：県立尼崎総合医療センター 循環器内科 医師 北 祥男
栄養管理部 管理栄養士 柳田 理恵

【日 時】平成28年1月26日(火曜日)
午後2時～4時

【場 所】県立尼崎総合医療センター 講堂(1階)
参加費：無料(予約不要)

★お問い合わせ：外来Bブロック(糖尿病・内分泌内科)看護師
☎ 06-6480-7000(代表)

スタッフの
つづきの
やき

キャリア支援室って…!?

キャリア支援室の看護師



「One More (ワン・モア)」の優しさ

キャリア支援室では看護師の教育、看護職員の人材確保、定着などの取り組みを行っています。スタッフの教育支援に関する事、キャリアアップに関する事、ワークライフバランスの事、環境の変化に伴う悩みなど、頑張るナースのサポートができればと考えています。

看護師には知識、技術はとても大切なものになりますが「One More (ワン・モア)」のやさしさをもてる、目配り、気配りの配慮ができる看護師の育成を目指し、年間教育プログラムを考え、研修の充実をはかり1人ひとりを、大切に育成を行っています。患者さんに安心して、外来受診や入院生活を過ごして頂けるように「One More」を合言葉に頑張っています!!



ぶらり〜っと 病院探訪

総合医療情報システムの保守と運用管理

情報管理部 (サービスデスク)

職員からの
問い合わせの
向こう側には、
患者さんが…



患 者さんの診療情報など院内の様々な情報管理を取り扱う情報管理部のサービスデスクを訪れお話しをお聞きしてきました。

先ず、大変だったのは、県立尼崎病院と県立塚口病院の統合移転時に両病院へ通院されている(されていた)患者さんの診療情報を一つにまとめ、新病院にて新しい総合医療情報システムを構築することだったそうです。患者さん一人ひとりの診療情報を誤りなく統合する難しい事業でしたが、患者さんのご理解も得ながら、診療現場や事務部門とともに知恵と力を合わせ乗り切ることができたようです。

この新病院での総合医療情報システムは、「骨格をなす電子カルテ本体」と「50を超える部門システム」によって支えられています。患者さんに身近なところでは、呼出受信機や案内表示板、診療費支払機などもそれらの一部です。情報管理部では、この総合医療情報システムが、

臨床現場で円滑に動作するための保守管理という大事な業務を担っています。

お話によると、サービスデスクでは、これら総合医療情報システムとネットワーク基盤の保守・運用管理を365日24時間体制で担当されています。

情報管理部のスタッフは、患者さんとは直接お目にかかる機会はありませんが、「職員からのシステムに関する問い合わせの向こう側には、患者さんがいらっしゃるということに心に留め、迅速で的確な対応すること」を常に心がけておられるそうです。

今後、蓄積されたビッグデータを活用した新たな知見を通じ、より良い医療の提供と病院運営の効率化への貢献に期待したいものです。



編集後記

街路樹の落葉が歩道や車道に舞い散る季節になりましたね。

ふと足元に銀杏を見つけ、あったかいお鍋やお酒が恋しくなり(僕のように)つつい飲みすぎちゃう…なんて方もいると思います。これからの時節、二日酔いが心配になるほどお酒を飲んでしまった時は、果物を食べておきましょう。アルコールを分解する酵素が多く含まれたリンゴや柿は特に効果的ですよ(^-^)

(Y.F.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索